

2023 年度の社会実験の実施及び今後の検討スケジュールについて

1 2023 年度の社会実験の実施について（概要）

- 対象施設：矢作川浄化センター及び豊川浄化センター
- 実施期間：2023 年 9 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで
- 放流する栄養塩の種類及び上限値：窒素(上限 20mg/L)、リン(上限 2 mg/L)
- 水質調査、ノリ・アサリへの効果調査：2022 年度と同様の方法で実施

2 今後の検討スケジュールについて

- 2024 年 2 月（予定）：2023 年度の社会実験の中間報告
漁業生産に必要な栄養塩濃度の検討
(数値シミュレーション結果の報告)
→結果を愛知県環境審議会水質・地盤環境部会へ報告
- 2024 年 6 月（予定）：2023 年度の社会実験の効果の検証
2024 年度以降の栄養塩増加管理運転の方向性
※2024 年 6 月の検討会議では、2017 年から実施したリン
濃度増加試験運転及び今回の社会実験の効果を総括し、
2024 年度以降の栄養塩増加管理運転の方向性について
速やかに意見をとりまとめる。
→結果を愛知県環境審議会水質・地盤環境部会へ報告
- 2024 年度は、第 10 次総量削減計画の策定を見据え、海域ごとの漁業生産に
必要な栄養塩濃度の提案や管理方策など、漁業生産に必要な望ましい栄養塩
管理のあり方を検討していく。